



広報 かわじま

編集発行 川島町役場 ■ 電話 (0492) 97-1811 ■ 毎月1回20日発行 1部20円

人口と世帯
(3月1日現在)

総人口 18,567人
前月との差 18人増
男 9,300人
女 9,267人

世帯数 4,225世帯
前月との差 3世帯増



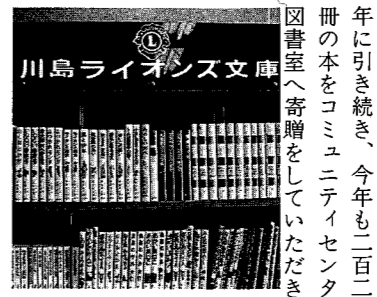
元気に縄跳び

2月28日、中山小学校で縄跳び大会が行われました。小学生を中心に一般の方まで100人が参加して寒さを吹き飛ばすように、白い息をはきながら元気に跳びくらべをしていました。

足が縄に引っ掛かったり、疲れてやめてしまう子をしり目に連続2,000回も跳んだ子もいました。

これは「風邪をひかない体力づくりをしよう」と中山公民館で毎年計画しているものです。

3 1982 No. 264



▲寄贈された図書

川島ライオンズクラブから昨年引き続き、今年も二百二十冊の本をコミュニティセンター図書室へ寄贈していただきました。



お知らせ

ライオンズ文庫増冊
コミュニティセンター

とき 四月十二日(月)、午後一時三十分から二時三十分まで
ところ コミュニティセンター

対象 昭和五十六年七月・八月生まれの子

乳幼児健康診査

した。児童書・実用書を中心に、みなさんに愛読していただけるものと思えます。どうぞご利用ください。

犬の登録・狂犬病予防注射の日程

実施日	時間	会場
4月5日(月)	10:00~11:30	小見野公民館
	13:00~15:00	中山公民館
4月6日(火)	10:00~11:30	三保谷文化センター
	13:00~15:00	伊草公民館
4月7日(水)	10:00~11:30	出丸文化センター
	13:00~14:30	八ツ保文化センター
4月10日(土)	10:00~11:00	役場

※費用は登録と注射で3,800円です。

ツベルクリン接種(判定)の日程

接種日	判定日	会場	対象地区	備考
4月13日(火)	4月15日(木)	小見野公民館	小見野地区	該当者 S55・1~S55・12までの出生者
4月14日(水)	4月16日(金)	出丸文化センター	出丸地区	該当者 S54・1~S54・12までの出生者
4月19日(月)	4月21日(水)	伊草小学校体育館	伊草地区	該当者 S53・1~S53・12までの出生者
4月20日(火)	4月22日(木)	三保谷文化センター	三保谷地区	該当者 S52・1~S52・12までの出生者
4月26日(月)	4月28日(水)	八ツ保文化センター	八ツ保地区	該当者 S51・1~S51・12までの出生者
5月4日(火)	5月6日(木)	中山小学校体育館	中山地区	該当者 S50・1~S50・12までの出生者
5月10日(月)	5月12日(水)	川島中学校	中学生	該当者 S49・1~S49・12までの出生者

※B.C.G接種は、前年(4月)に接種した者に限り、判定日を前年(4月)に引きずります。

三歳児健康診査

とき 四月二十七日(火)、午後一時三十分から二時三十分まで
ところ コミュニティセンター

対象 昭和五十三年八月・九月生まれの子

町民芸

俳壇

特選 生れたる蝶よろこびの羽づくろひ
淡雪や欠けし羅漢の面濡らす
初蝶の子安地蔵を囃しをり
淡雪や帰宅を急ぐ下校の児
淡雪の触れては消える母の墓
初蝶の蝶見とれ憂き事ふと忘れ
初蝶の蝶観音様への道すがら
淡雪の積る事無く消え失せり
牡丹雪に障子再び開きけり
鶯舎の灯降る春雪におぼろげに
もろもろの木に降る夜の牡丹雪
淡雪や黄の旗もちて誘導す
縁に来て初蝶羽をたたみ居り

選者 猪鼻 初蝶

根生 光月
村田とみ子
宇津木晶園
益子 トシ
神田 儀平
松本 ハル
望月 千明
田中 こう
渡辺 野菊
根生 勝子
鈴木ゆき子
新井 敏子
山下たけ子



選者評 特選一句目は初蝶にふさわしい明るく人間との出逢いが描写されています。特選二句目は欠け羅漢の哀れさがにじみくるようです。特選三句目は下句のはやすがよく生きています。

いつの季節でも母や墓を詠むものに名吟は多く、何かを呼び覚ませようとしてじつとみることでしよう。一つの作品を完成させるにはポイントを捕らえることが大切です。これからは、新人の方もたくさん俳句をどんどん作ってください。

これで二回目の選句をさせていただきますが、選をするときは自らが試されていることを特に痛感しています。

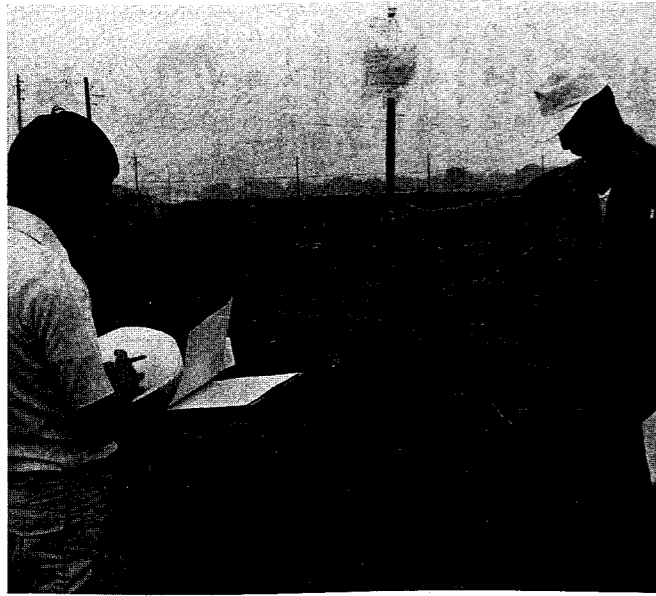
自句 淡雪を無限に呑みて海の闇
初蝶に風荒びくる地鎮祭

応募要領

季節 四月号……入学・春眠
五月号……行春・若葉

締切 前月の末日までに、住所・氏名(俳名の場合も本名記入)を明記し、役場広報係まで。

鹿山誠堂
小高祥子



▲毎年行われている転作田の現地確認調べ

これから



小高秀明さん
(畑中・35歳)

麦作の規模拡大をめざす

私は農業を一人でやって、それなりに楽しい経営をしています。小麦一五ヘクタールを主体にして、稲を一・二ヘクタール作付けしています。小麦は二千袋ぐらい出荷しますが、袋に入れないでばらで熊谷まで運んでいます。大型機械を導入して五年ほどになります。建設省の河川敷や個人から借りているので、十分採算は取れています。最近排水なども整備されてきて、

転作地の作付けもやりやすくなっています。奨励金をもらって、小麦を作れば率がいいし、手間や管理が省けます。米にはあまり執着心がないので、今後転作が続いても心配はしていません。むしろ農地の高度利用で今の二倍ぐらい小麦を作ろうと思っています。ミニ工業団地の話を聞きますが、住宅ができる乾燥機がきそう、この辺は現状のままがいいです。

市街化でも農業の維持を

笛木やす子さん
(上伊草・34歳)

農業を知らなかった私は、この家へきて母から教わりながらなんとかやってきました。現在主人が勤めですが、稲を一・二ヘクタール耕作していま



す。四〇アールが転作地で昨年初めて小麦を六〇アール作付けました。この辺は排水の便が悪く転作の条件はよくないです。市街化区域の農地がほとんどで、新興住宅のわきの田んぼは、用水がなく家から水をホースで送っている状況です。でも、長年培われた生活は変わらないと思っし、農業は維持したいです。子どもたちはまだ小さいのですが、農業や土地の大切さを少しづつ教えていこうと思います。ただ、周りに農家が少なく、家でのんびりしているのを見ると、田植え時などどうやらま

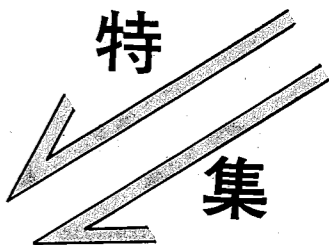
将来への期待

東松山農林事務所 水田利用再編対策は転作田の団地化に重点をおくことの必要性から昭和五十六年度に団地化加算制度を新たに創設し、集落のみならず、あるまとまりをもった転作田の定着化を図ってきたところです。

幸いに麦・大豆の転作については、団地化で体系化された栽培管理のもとで高い収益を収めている事例も県内には数多くあり、今後への波及効果が期待されています。

団地化は、あくまでも集落の話し合いがその基本であり、限られた耕地面積からいかに多くの収益を上げるかを考えていく以外に解決の方法はありません。それだけに、今、必要なことは個人が小異を捨てていかに大同につくかということではないでしょうか。一人は万人のために、万人は一人のために」という協同の精神こそ、豊かな集落発展への一里塚であると思われ

の農業経営は



稲転は昨年並み

水田利用再編対策事業の稲作転換制度(略して稲転)は田で米を作るかわりに他の作物を作りながら、必要なきときには、いつでも米が作れる体制を整えておく制度です。

町でも稲作転換が水田面積の約四分の一を占めるようになり、米にたよっていた農業収入も切り替えていかねばなりません。転作も生産物の安定や定着を図るため集

団化の推進が行われるようになりました。そこで今回は、稲転問題とそれに対応する農家経営のあり方や将来の構想など、また、町の取り組み方が模範として全国農業新聞で紹介された農用地高度利用(四ページ下段参照)についての考えを農家を訪れ聞いてみました。

▶水田は昨年同様の転作割り当てが



主婦の意見交換の場を

矢内悦子さん
(吉原・31歳)



私の家は施設園芸が中心で、きゅうりのハウスを二〇アール、稲を一ヘクタール作っています。また、転作地は六〇アールあります。が、ここへは夏のきゅうりとトマト、それから牧草をやりました。転作が多くなると施設きゅうりに必要なわらが足りなくなり、ほかから買うようなのでこまりに必要なら買おうかなと、野菜を作っても時期になると水がでてしまう現状をみると、基盤整備などをして安心して転作ができて、それだけの採

算が取れるようになればと思います。それには土壌改良や地域指導も必要ではないでしょうか。主人とよく話をするのですが、将来は冬のハウスと夏の転作物を組み合わせた形態をつくり、子どもが希望すれば親子で農業をやっていくのが夢です。私のような専業農家の主婦が参加して、生活や農業について指導してもらったり、意見交換ができる場を町などで企画していただきたいです。

稲転にご協力を

昭和五十六年度の稲作転換は第二期対策に入りましたが、四六七ヘクタールの目標面積に対して五〇四・五ヘクタール(対比一〇八%)と、農家のみなさんのご協力で大幅に上回る転作ができました。

さて、五十七年度の転作実施に当たっては、五十五、五十六年と二年連続した米の不作による配慮から、五十六年度と同様(実質的には二・二ヘクタール減)の割り当てとなりました。

栽培技術などの向上で米の生産力は大幅に需要を上回っており、転作は今後も継続して実施する必要があります。町でも転作物の生産安定と定着化を図るため、排水のしゅんせつなど昨年にも増して実施する計画です。しかし、ご希望にそまうまではなかなかいきませんが、今後も引き続き実施する予定ですので、五十七年度転作にはいっそ

のご協力をお願いします。なお、集落別目標面積、第二期対策の内容などについては、農家組合長さんを通じてお知らせします。

(役場経済課)



小遣いについて考えよう

非行の原因にも

自主性を育てる

子どもたちは学校や家庭の中で生活しています。その中で、希望や欲求がなくては困るが常に満たされているとは限りません。欲求に耐える力が弱く、正しい解決ができない場合、環境にさらされた行動となつて現われます。小遣いで学用品を買う子もあれば、ゲームなどの遊びに利用する子もいます。小遣いは、多く与えればよいというものではなく与え過ぎると非行等に走る可能性があります。

近の親は、要求されるとかなり高価な物でもすぐ買って与えてしまいますが、それでは欲しい物は次々にほかへ移ります。それは、欲しいと言っただけで買



親や親せきの人から「小遣いをたくさんもらってよかった」：このお金で何をかうか子どもは胸をふくらませます。お金を使うことは、経済観念を育てることに有意義であり将来への影響は大きいものです。何をかうかなと考えることは、自分の意志をコントロールするのに大切なことです。欲しい物を衝動買いするのではなく、品物を選ぶにもこれとこれではこちらの方が長く利用できる、この物の方がきれいだが、丈夫だなどと考えさせることが必要になってきます。小遣い帳をつくり、記録させると使いみちがわかりやすいといわれています。

価値観がわかるように

小遣いの使い方をみても、子どもの将来におよぼす影響がいかに大きいかかわります。最

計画性を考える

小遣いは、どのくらいの額を



▲小遣いはよく考えて有意義に

なん歳から与えたらよいか、この家庭でも親が気をつかう問題です。性質や家庭によって異なりますが、計画性のある子どもは二年生ぐらいからでもお金を少しずつ有効に使うことができます。しかし、普通四年生ぐらいが適当と言われています。

困っている方は 教育相談室では、子どものしつけや教育の問題で困っている方のために相談を行っています。くわしくは、教育委員会（☎九七一六一）へ。

困っている方は

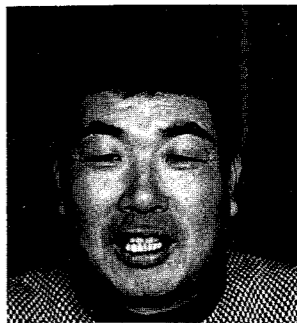
小遣いは週ごとや月ごとに、また、必要な時だけ与える家庭もあります。月別に与える標準家庭の例では、小学一、二年生五百円、同三、四年生千円、同五、六年生千五百円、中学生二千円となります。これは家庭や地域で違いはあるが、目安にされている額です。小遣いを使うことは自己規制の力を養うことに役立つ、幼い心いつまでも残るものです。小学三、四年生は将来のために我慢することができるようになってきます。もらった小遣いをためて、自分の好きな物を買う計画も立てるようになります。

▲本当にほしい物を買う習慣を、入学や卒業のお祝いに、親せき知人の方から子どもが祝金にももらったときでも自由に使わせるのではなく、親が預かったり貯金をさせましょう。たとえ額が少しでも貯金（親が保管）することは子どもにとって進歩であり、蓄えることで経済観念が働くものです。そして、本当にほしい物を買う習慣をつけることです。

大型機械が導入できるほ場に

松本 一郎さん
(一本木・46歳)

うちでは水田を七ヘクタール、苜三〇アールと牧草六〇アールの耕作で、そのほかに麦作組合を四人でやっていて大麥・小麦を四三ヘクタール作っています。小規模の農家は、転作を条件の悪い田ときめていますが、家では麦を作るのに適している場所を選んで



高度利用で借りていますが、これは農業委員会ですべて手続きし

集団転作を地域に定着

吉田 明さん
(出丸中郷・46歳)



現在の耕作は稲が七〇アール、小麦一・六ヘクタール（転作分六五アール）桑園が四〇

アールです。これを妻と二人でやっていますが、米と麦を養蚕の収入はほぼ同じくらいです。私の地域では三年ほど前から集団転作を行っています。団地化するまではたいへんでした。今は十二人で四・九ヘクタールの土地に小麦を作っています。収穫などにメリットはありませんが、奨励金が一万円多くなるのでこれからは実施できればと思います。

農地の高度利用については関心のある問題で、よく話をしますが、一度貸してしまおうと耕作権が発生するのではないかとみんな思っています。この地域ではまだやっていません。将来は基盤整備をして農業意欲のある人がこの制度を利用するのが理想ではないでしょうか。出丸地区では養蚕がさかんですが、あと数年するとやめていく人が多くなり、米・麦・野菜が主流になるでしょう。家でも長男に農家を継がせたいと考えていますが、子どもといっしょにやっていくときは米麦農業をと思っています。これからは転作は続くようですが、地域の現状を考えて実施してほしい気がします。

てくれるから簡単だし、後継者がいなくなるのもっと利用者が多くなるのではないですか。将来は、娘に婿をもらって今の形を継続させるつもりです。ただ苜は価格が毎年安定してないのでやめて、米と麦だけの経営を、と考えています。町ではパイプライン工事を進めているが、これに合わせて一〇アールの田を五〇アールぐらいのほ場に区画整理をし、農道も整理して大型機械が利用しやすくてきたらいいですね。

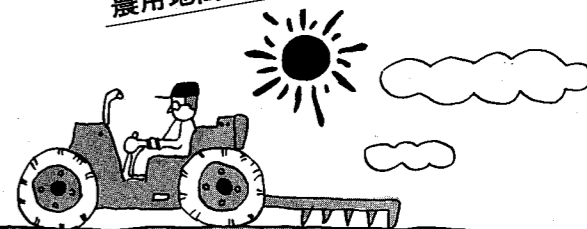
安心して農地の貸し借りを

農用地高度利用促進事業

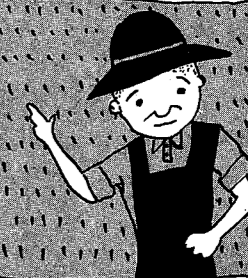
この事業の特徴は

- ①農地法の許可をとる必要はありません。
- ②契約期間が終了すれば、貸していた農地は自動的に貸し手にもどります。
- ③貸し手と借り手の間に町が入って、集団で契約します。
- ④小作地の所有制限の規定にかかわらず、所有することができます。
- ⑤短期の貸し借りを繰り返して継続することもできます。
- ⑥離作料の支払いは必要ありません。
- ⑦貸し手農家には奨励金を交付（1回だけ）します。

※くわしいことは、農業委員会事務局（☎97-1811内26）か農業委員さんにおたずねください。



奨励金の金額 (10アール当たり)		
対象地	期間	金額
農地	3年～6年未満	10,000円
	6年以上	20,000円
採草放牧地・未墾地	3年～6年未満	2,000円
	6年以上	4,000円
農地の期間借地	3年～6年未満	5,000円
	6年以上	10,000円





▲ぼくたちの町をきれいに

伊草スポーツ少年団では、2月14日国道沿いと伊草グランド周辺の清掃を行いました。

この日は、子どもたちのほかに父兄も参加して、「あきカン・ゴミくずなどのない町に……」とはりきっていました。

青空の下で発足

八幡団地自治会の発会式が、2月28日、同5丁目公園で行われました。

現在、200世帯のみなさんが入居していますが、親ほくや生活環境の向上を目的として行くとのこと、これからは、町の行事へも積極的な参加を期待しています。

▶「川中美幸ショー」に二千四百人
商工会では、日ごろの感謝の気持ちをこめてと二月二十日、「川中美幸ショー」を東松山文化会館で行いました。
「二人酒」などのヒット曲で有名な歌手の川中美幸さんとおあって、当日は朝から順番を待つほどの人気でした。



こんなことがありました

*

川越と桶川の勤労青少年ホームでは、五十七年度前期講座を次のとおり募集しています。技術や教養を身につけて、ゆとりある人間になるために、あなたも参加してみませんか。資格 県内に居住または勤務する二十五歳(桶川ホームは三十歳)までの青少年
期間 四月から九月(桶川ホームは五月から七月または九月)まで
時間 午後六時三十分から八時三十分まで
経費 千円(一講座)なお、ほかには教材費がかかります。
申込み それぞれのホームへ直接申し込んでください。

川越ホーム

講座	曜日	定員
スクエアダンス	月	60(名)
ペン習字	火	20
華道	水	20
フォークソング	木	20
料理	木	25
ギター入門	金	15
茶道	金	20
社交ダンス	金	80

桶川ホーム

講座	曜日	定員
華道	月	20(名)
洋菓子づくり	月	20
茶道	火	20
料理	水	20
社交ダンス	水	40
木目込人形	木	20
将棋	木	20
和裁	金	20
書道	金	20
メイクアップ	毎月第3火	20

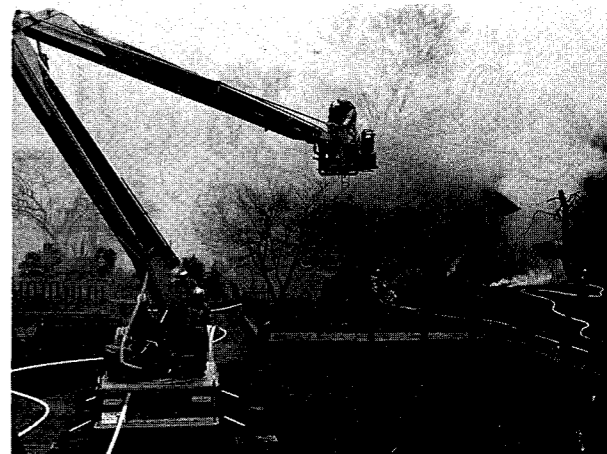
楽しいひとときを

申込み 準備講習会は四月二日(金)午前九時から午後三時三十分、試験願書については四月六日(火)午前九時から午後三時まで川越地区消防組合消防本部へ
講習会申込書、受験願書の用紙は、川越地区消防組合消防本部や川島分署に用意してあります。くわしくは、同消防本部(☎〇四九二二二一〇七〇〇内三三、三四)へ。

危険物取扱者試験と準備講習会

〔準備講習会〕
とき 四月十五日(木)・十六日(金)の二日間 午前九時から午後四時三十分まで
ところ 川越市民会館
〔試験〕
とき 六月六日(日) 午前九時から正午まで
ところ 国際商科大学ほか

勤労青少年ホームで



▲広徳寺大御堂の防火訓練

「2月24日午後1時30分、火災警報発令中に広徳寺大御堂から出火……」こんな想定で広徳寺大御堂の防火訓練が2月24日に行われました。この日は地元の自警団(新堀、表、吉原地区)町消防団第3分団と川越地区消防組合本部、川島・高階分署が参加しました。

雨の中にときおり雪が混じるあいにくの天気でしたが、発煙筒をたいた効果で本番さながらの消火活動でした。

なお、訓練終了後、文化財関係の方や地元のみなさんに消火器の取扱いについて指導がありました。

こんなことがありました

*

軽自動車(バイク等)税は4月1日で課税

一二五cc未満のバイクや農耕用小型特殊自動車は、四月一日現在の所有者に課税されることになっていきます。登録の手続は、所有者の申告制度となっており、役場でも実態がつかめません。古くなたたりして、使用できない状態で放置してある

固定資産課税台帳の縦覧

固定資産は三年に一度評価替えが行われ、今年はその年度にあたります。縦覧期間は次のとおりです。大切な資産をこの機会にお確かめください。
とき 四月一日から二十日まで(時間は午前八時三十分から午後五時まで、ただし土曜日は午後零時十五分まで、日曜日はのぞく)
ところ 役場税務課窓口

2月の火災と救急の出動		川島地区消防組合 川島町管内		
=火災=		=救急=		その他
件数	0件	件数	52件(9件)	33件(10件)
損害額	0円	搬送人員	47人(9人)	30人(8人)
~~~~~				
57年1月~2月累計				
件数	2件	件数	74件(13件)	45件(16件)
損害額	192,000円	搬送人員	69人(15人)	42人(12人)

もの、他人に譲ったものなどについては、早めに手続を済ませてください。  
廃車手続 ナンバー、標識交付証明書、印鑑を持参して税務課へ申請してください。  
〔継続検査用証明書〕  
継続検査を受けるための証明書は、納税通知書に添付してありますのでご利用ください。  
名義変更、新規登録、盗難、転入、転出、標識交付証明書の紛失など、くわしいことは役場税務課(☎九七一一八一内二一)へ。

ねんきんだより

## 保険料が4月から5,220円に



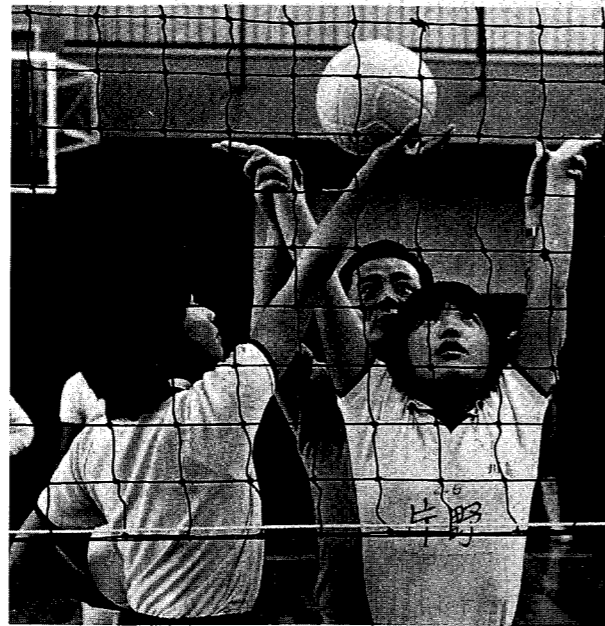
国民年金の保険料は、57年4月から1か月分が5,220円に変わります。これは、老齢年金の受給者が増え続けているのと、年金額が物価の上昇などに合わせて、毎年増額されているため、給付の足し前をする国の負担額も増えますが、被保険者のみなさんの保険料も増やしていただかなければならないからです。

付加保険料は従来どおり月額400円です。

保険料を納め忘れていたり、障害年金や母子年金が、また将来老齢年金が受けられなくなったりすることになりますので、必ず期限までに納めるようにしましょう。

また生活が苦しくて、保険料を納められないときは、保険料を免除する制度もあります。

くわしいことは、住民課年金係 (☎97-1811内36) におたずねください。



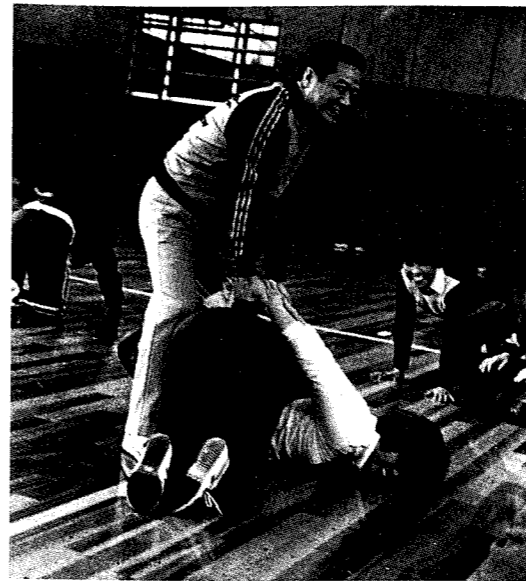
▲実際に手を取って熱心に川中生を指導する松平さん



▲投げられる方も打つ方も元気いっぱい……

### 若さでハッスル 年齢制限ソフトボール大会

# みんなのスポーツ



▲松平さんから準備体操の手ほどきを受けてうれしい悲鳴を上げるママさん

## すばらしい上達ぶり

### 松平バレー教室開かれる

去る二月二十八日、午後一時三十分から四時三十分まで、松平バレー教室が町民体育館で行われました。これは、毎月一回のペースで全国各地で開かれてくるもので、町内のバレーボール愛好者・中学校男女バレー部員など約百三十名が参加しました。

講師は日本バレーボール協会専務理事松平康隆氏、中央大学

監督橋本篤治氏、連盟公認コーチ佐伯梅子氏、同小島和幸氏という日本一流の講師が勢ぞろいです。参加者を四つのグループに分け、それぞれの先生方からバレーボールの基本技術から高度な連携プレーまで、一人一人の手をとって、わかりやすくしかも厳しく親身になって教えてくれました。わずか三時間の指導でしたが、参加者も汗だくで応え、メキメキと腕が上がりました。

これで、町のバレーボール愛


▶練習中の中学生



好の輪はさらに広がりそうです。なお、参加した方から感想をよせていただきましたので掲載します。

ごぞんじですか

## セールスマン登録制度



悪質な訪問販売をなくするという社団法人日本訪問販売協会の「訪問販売員登録制度」があります。訪問販売のトラブル・問題解決には、セールスマンの身元がはっきりしないと手のつけようがありません。

もし、お宅に訪問販売員が来たら「登録証は……」と聞いてみてはいかがですか。

なお、登録証には写真がはつてありますので本人かどうかよく確かめ、できたら登録番号を控えておくといざというときに役にたちます。

### 奮って参加を 卓球教室

卓球は気楽にできるスポーツとして人気がありますが、伊草公民館と教育委員会の主催による


A	優勝	小見野
B	準優勝	中山上廓
C	優勝	伊草
D	準優勝	出丸

去る三月七日(日)午前九時から総合グラウンドで、新しく年齢を四十歳以上に制限したソフトボール大会が行われました。各地区から十チームが出場し、いずれも白熱した好試合が展開されました。

結果は次のとおりです。

完成したことで、小見野卓球教室も開かれる予定です。奮ってご参加ください。

くわしくは、教育委員会(☎九七一―六一一)へ。



### チームづくりに生かして

駒林けい子さん(小見野・主婦)

基本を満足に知らない私は、二度とないチャンスかとも思いうる。風邪を押し切って出かけてみました。

ユーモアあふれたことばと、日ごろ行われていない楽しい準備運動が和気あいあいの中に行われました。その後グループに分かれ基本の技術・動作の数々を指導していただきました。体の痛みを忘れ、ボールにいくついてもいいみんなの姿本当に有意義でした。

ふだんはテレビでしか見られない先生方の熱心な指導にじかに触れ、こんなうれしいことはありません。今回の体験をチームづくりに生かします。練習に励んでいきたいと思えます。心配していた風邪も快い汗ですっかり治ったよう、軽い足どりで帰途に着くことができました。

### お父さんみたいな松平先生

永島貴代美さん(川中二年)

初めなんとも怖い感じがしてびくびくしていた私、でも練習が始まって松平先生は、できない人にはネットを下げてくれたりして、できるまで教えてくれました。それからは、怖いという感じが頭のなかから消えていきました。

私は、セッターなのでみんなへトスを一人で上げました。遠くにボールが飛んでとれないとき、へんな方にボールを上げてしまったときなどすごく怒られました。だけどよいボールを上げるとニコニコして手をたたいてくれました。

松平先生にコーチしてもらって本当に勉強になりました。優しい心を持った頼もしいお父さんという感じがしました。ぜひ、また来てもらいたいと思います。



▲熱心に耳をかたむけるみなさん

毎年行われている交通法規講習会が、今年も二月二十一日に町民体育館で千二百名のみなさんが集まり行われました。

講習会では、正しい交通ルールや福引きもあり好評でした。

交通法規講習会

千二百名が参加

春の全国交通安全運動

4月6日から15日



四月六日から十五日までの十日間、春の全国交通安全運動が行われます。今回の運動は、さらにいっそうの交通事故防止を図るため、すべての人が正しいルールとマナーの実践を習慣づけることを目標にしています。

原動機付自転車の事故防止

最近、女性を中心にミニバイクが大変なブームですが、ともに増えているのが交通事故です。次の点に注意して安全運転に心掛けましょう。

法定速度を守ろう

スピードの出し過ぎは急ブレーキの原因となり、転倒する危険があります。また、急発進も事故のもとになりますから、十分注意しましょう。

ヘルメットをかぶろう

原動機付自転車の死亡事故の約七割は頭部損傷によるものです。頭を守るためにも必ずヘルメットをかぶりましょう。

常に点検整備を

乗車する前には車輪・ブレーキ・灯火などについて点検を行います。また、無保険のまま運行することがないよう保険に加入しましょう。

戸籍だより (2月分)

▲おめでた▼

- 猪鼻 知里(美孝) 角 泉
小峰由記子(公雄) 平 沼
堤 健一(平三) 上 小見野
尾崎 直人(宗良) 上 小見野
岡安 良人(治男) 下 小見野
小島 伸洋(邦夫) 下 伊草
小谷野裕之(隆) 飯 島
堀井美奈子(節男) 畑 中
福島 直樹(彰) 出 丸下郷
岡部 英明(幸明) 上 伊草
遠山 恵美(修) 角 泉
小峯 梨加(三吉) 牛ヶ谷 戸
関口 拓美(勝治) 上 八ツ沼
津田 裕美(守) 芝 沼
大井 迪(毅) 上 伊草
小林 沙織(安雄) 東 大塚
田崎 竜司(博) 中 大塚
小林 千鶴(博) 出 丸中郷
関口 純子(勇) 上 伊草
遠山 共生(昭雄) 角 泉
鹿山 愛(健司) 飯 島
小久保英明(典雄) 白 井 沼
島田 聖也(富久治) 中 山
吉田 裕明(富夫) 飯 島
飯島 潤(重夫) 中 山
道祖土直人(周美) 吹 塚
菅田 寿美(一) 上 伊草
菊地 秀昭(正人) 上 伊草
細貝 智恵(大次郎) 三保 宿
村永 真一(宗久) 上 伊草
伊部 聡(末美) 上 伊草
清水 邦昭(昇) 芝 沼

▲おくやみ▼

- 丸山 仙蔵(70) 伊 草
馬場 達治(56) 山 谷 戸
島村 ぎん(85) 正 直
倉浪 かね(77) 鳥 羽 井
関 てる(70) 釘 表
白田 己之助(70) 伊 草
柴 愛子(56) 正 直
岡部 喜一郎(80) 上 大屋 敷
蓮見 由一(63) 中 山
中村 サト(87) 吹 塚
根岸 洋子(14) 上 八ツ沼
稲原 文治(69) 上 八ツ沼
斎藤 保(74) 鳥 羽 井 新 田
鈴木 マサ(58) 虫 塚

むかしのはなし



学校の思い出

わたしが尋常小学校へ行ったころは、カバンなどなかったの... 算術の本やこまものを入れて、肩にしょって通いました。



三保谷宿 只野タキさん

とがなかった時代ですから、弁当を持って行ったのですが、ひきわり飯(米と麦のご飯)におかずはタクアンか梅干しでそれ... はそまつなものでした。

ぼくらの さくひん

父とお使いの帰りに荒川の前を通ったときのことだった。ふーんと変なおいがたちこもった。車の窓を開けてみたら、今度はもつとおいが強い。



八ッ保小 5年 伊藤加奈子さん

気持ちがいっぱい広がった。いく日かたち、わたしは川のことか気がかかったので、母と車で見に行つた。前よりも大き

「ゴミの山」に思う
「ゴミの山」となっていた。ふと目に入ってきたものがある。自転車にゴミを乗せてきた人が、その袋をポーンと川にほうったのである。

学校の休み時間は、どんなに寒い日でも雨が降らない限り外に出されたものです。遊びは、きしゃご(おはじき)、「おいつこ(お手玉)」、なわとびなどでした。雪の降った日だけは、先生が火鉢を持ってきて暖めてくれたことを覚えています。

心のふれあう鼓笛のひきこみ 学校の子どもたち



鼓笛では長い歴史を持つ本校の子どもたち、放課後に練習をしていたが、今はゆとりの時間を活用して行っている。太鼓・笛・バトン・旋律楽器、指揮とそれぞれの分担で、六年生が下級生に一对一で自分の経験を生かして教えていく。

朝のさわやかな校庭に、音楽室からトランペットの音が聞こえてくる。始業前二十分の朝の練習が今行われている。六年生を送り出すので、新しく三年生が鼓笛の仲間入りである。五、六年生から引き継がれ、やっとな音が出るようになり、吹ける楽しさが出て、やる気があるわれたところである。